

# デマンド型(予約制)乗合いタクシーの導入を

## 他の自治体の導入事例を研究して検討する



児玉 孝徳 議員

最近、全国的に高齢者の痛ましい交通事故が多発している。高齢者の交通事故防止として運転免許証の自主返納が有効だと考える。

本町において、交通弱者に対して日常生活の維持に向け、買い物、通院、公共施設、金融機関への立ち寄りを支援する、予約して運行するデマンド型乗合いタクシーの導入はできないか。また運転免許証を返納された方には、複数年使用できる無料チケットを配布して促進を進め、高齢者の交通事故防止につながればと考えるがどうか。

希望に即さないことも考えられる

町長

デマンド型タクシーは利便性改善の1つの手段と考えられるが、事前に予約しておく必要がある、営業区域は広域ではないなど、利用者の希望に即さないことも考えられるので、先進事例を見ながら勉強する。

タクシー業者と提携し利便性向上と負担減を

児玉議員

ジャンボ車両タクシーを町で購入し、タクシー業者と提携して、昼間の運行をしていないタクシーなども利用し、事前に登録した高齢者の方が二〜三時間ぐらい前までの予約で、自宅から目的地まで、運行も予約に応じ行うことで利便性と経済性がよくなる。



デマンド型乗合いタクシーのイメージ図

タクシー業者で予約の受付も行えば、ノウハウを生かし車両の手配から連絡、そして運行までスムーズに行き、行政側の負担も少ないと考える。運行区間は、大崎町内及び近接地として、利用料金は100円から最高でも300円以下の低料金とすれば、自家用車を所有するより負担も少なくなるがどうか。

他の自治体での導入事例を研究し検討する

町長

今後交通手段がない方々の不便性を解消するため、他の自治体での導

入事例を研究しながら検討を進める。

学校給食での地産地消の推進状況は

児玉議員

本町の基幹産業である農産物の消費拡大は大きな意義があると考ええる。また学校給食などにおいても推進することで、子どもたちの健康増進、地域に対する愛着もさらに強まり、生産者育成にもつながるが、進捗状況はどうか。

町内農産物の利用率は25%

教育長

現在学校給食センターでは、栄養バランス等を考慮し、また安全で安心な給食の提供を念頭に入れ食材の購入をしている。学校給食費補助事業を実施して地産地消の推進に努めている。

状況 25% 進捗率 27年度 平成27年度

品目	地産地消の割合
米	30%
野菜	20%
魚類	10%
こんにやく	一部
豆腐、肉類	一部

主食は地元業者から大崎産米100%で

児玉議員

学校給食で特に主食である米について、隣の東串良町では、100%地元産を町内業者から購入し給食に提供している。本町も100%大崎産米にすることで学校給食の目標となる地産地消が飛躍的に上がるが、地元業者から直接購入することはできないか。



学校給食の風景

安全性や量の確保、品質の安定、価格面が課題

教育長

学校給食で使用する米は、早期米の出荷時期にあわせて9月から3カ月は地元産の米を、それ以外は鹿児島県産を使用している。安全性を確保す

るため県の学校給食会を通じて残留農薬検査や理化学検査等を実施したものを、安価で購入している。量の確保、品質の安定、価格等、クリアしなければならぬ課題もある。

課題改善は地元組合に確認済みであるが

児玉議員

私のほうで地元の粗すり業組合に、学校給食センターへ年間を通じて納入できないか、残留農薬検査の実施や異物混入がないか衛生面・安全面はどうかを確認している。納入価格については給食会と同等になるように、組合で今後話し合いを行うとのことであるが、どうか。

今後、調査研究し改善する

教委管理課長

量の確保、それから品質の安定、価格の面を、総合的に含めて判断し、粗すり業組合、それからJAもおも含めて今後調査研究し、改善したい。